科目名	サービスデザイン演習							年度	2026
英語科目名	Service Design Training 1							学期	後期
学科・学年	ＡＩシステム科 １年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	末吉 竜介	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		

【科目の目的】

顧客・ユーザーのニーズを捉え、価値発見から設計、生成AIを活用したプロトタイピング、そして検証までの一連のサービスデザインプロセスを実践的に理解し、ビジネスの持続可能性を考慮したサービス提案ができる人材の育成を目的とします。

【科目の概要】

本演習では、顧客・ユーザー理解を深め、バリュープロポジションを定義します。サービスブループリントを用いた設計、生成AIを活用したプロトタイピング（HTML/CSS/JavaScript中心）、そして顧客・ユーザー視点での検証と改善サイクルを実践的に学びます。生成AIの活用とテスト工程を重視し、実用的なサービス開発能力を養います。

【到達目標】

顧客・ユーザーのニーズを基にアイデアを発散させ、バリュープロポジションを定義し、生成AIを活用したプロトタイピングとテスト工程を通じて、顧客にとって有用なサービスを設計・実装・検証できるスキルを習得します。

【授業の注意点】

本演習は実践的なグループワークが中心となるため、積極的に議論に参加し、自身のアイデアを発信することが求められます。生成AIを積極的に活用し、試行錯誤を繰り返しながら、期待通りの動作をするか検証する「テスト工程」を重視します。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	顧客ニーズを深く洞察し革新的な価値を創出できる	顧客ニーズを正確に把握し新たな価値を提案できる	顧客ニーズを理解し価値定義に参加できる	顧客ニーズの把握に努力が必要である	顧客ニーズや価値発見への理解が不足する
到達目標 B	顧客体験を踏まえ独創的なサービスを設計できる	顧客ニーズに基づきサービスを論理的に設計できる	コンセプトに基づきサービス設計ができる	サービス設計の基本理解に努力が必要である	サービス設計の概念理解が不足する
到達目標 C	生成AIで革新的なプロトタイプを迅速に作成できる	生成AIを活用し効果的なプロトタイプを作成できる	生成AIの指示に基づきプロトタイプを作成できる	生成AI活用とプロトタイプ作成に努力が必要である	生成AIの活用やプロトタイプ作成が困難である
到達目標 D	検証結果からサービスの改善点を的確に特定できる	顧客視点で検証を行い改善策を提案できる	検証計画に基づきテストを実施できる	検証方法の理解に努力が必要である	検証の意義や方法理解が不足する
到達目標 E	一連のプロセスを統合し革新的なサービスを提案できる	一連のプロセスを理解し実践的にサービスを開発できる	各工程を理解しサービスデザインに参加できる	プロセス全体への理解に努力が必要である	プロセス全体への理解が不足する

【教科書】

配布資料または指定教科書

【参考資料】

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）デジタルスキル標準（DX推進スキル標準）

【成績の評価方法・評価基準】

顧客・ユーザーニーズの理解に基づいたサービスコンセプト設計、生成AIを活用したプロトタイピングとテスト工程における実践力

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	サービスデザイン演習	年度	2026
英語表記	Service Design Training 1	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	サービスデザイン概論とニーズ発見	サービスデザインの重要性と基本プロセスを理解する。	1	サービスデザイン	サービスデザインの概念を説明できる	1	
			2	顧客・ユーザー理解	ユーザー調査の基本手法を理解できる		
			3	課題抽出	顧客課題を特定する視点を学ぶ		
2	価値発見とアイデア発想	顧客ニーズから新たな価値を見出しアイデアを発想する。	1	価値発見・定義	バリュープロポジションを定義できる	2	
			2	アイデエーション	アイデア発想の手法を実践できる		
			3	コンセプト策定	サービスコンセプトを明確にできる		
3	サービスブループリント作成	サービスの全体像を可視化し構造を理解する。	1	サービスブループリント	サービスブループリントの要素を理解できる	2	
			2	プロセス可視化	顧客と提供者の活動を整理できる		
			3	接点と課題特定	顧客接点における課題を特定できる		
4	プロトタイピングの基礎と生成AI活用	生成AIを用いたプロトタイピングの基礎を習得する。	1	プロトタイピング	プロトタイプの種類と役割を説明できる	1	
			2	生成AI活用	生成AIでプロトタイプ作成の指示ができる		
			3	HTML/CSS基礎	HTML/CSSで簡単なUIを構築できる		
5	インタラクティブプロトタイプ作成（JS活用）	JavaScriptを活用し動的なプロトタイプを作成する。	1	JavaScript基礎	JavaScriptでUIに動きを加えられる	2	
			2	生成AIとコード	生成AIでJSコードを生成・修正できる		
			3	モックアップ開発	簡易的なモックアップを作成できる		
6	ユーザビリティ評価の計画	顧客・ユーザー視点での評価計画を立案する。	1	検証（顧客視点）	ユーザビリティ評価の意義を説明できる	2	
			2	評価指標設定	適切な評価指標を設定できる		
			3	テスト設計	評価計画とテストシナリオを作成できる		
7	プロトタイプのテストと改善１	作成したプロトタイプをテストし、改善点を特定する。	1	テスト実施	テスト計画に基づき評価を実施できる	2	
			2	フィードバック収集	ユーザーからのフィードバックを収集できる		
			3	問題点特定	プロトタイプの問題点を特定できる		
8	プロトタイプのテストと改善２	テスト結果を分析し、改善策を立案・適用する。	1	結果分析	収集データを分析し洞察を導き出せる	2	
			2	改善策立案	サービス改善策を具体的に考案できる		
			3	改善適用	プロトタイプに改善を適用できる		
9	サービスデザインの統合と発表準備	一連のプロセスを統合し、発表資料を作成する。	1	プロセス統合	デザイン思考のプロセスを統合できる	2	
			2	発表資料作成	サービスコンセプトを発表資料にまとめられる		
			3	プレゼン演習	発表のリハーサルを行い改善できる		
10	最終プレゼンテーション	サービスデザインの成果を発表し、フィードバックを得る。	1	成果発表	サービスコンセプトとプロトタイプを発表できる	2	
			2	質疑応答	質問に的確に答え議論を深められる		
			3	相互評価	他者の発表を評価しフィードバックできる		
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等